

カリキュラムマップ (カリキュラムとディプロマ・ポリシーとの対応関係一覧表)

大妻女子大学
令和8年度用

<学部・学科・専攻名>

学部名	文学部
学科名	コミュニケーション文化学科
専攻名	-

各DPと授業の到達目標との関係

◎：特に関係する ○：関係する

科目名	単位	配当年次	各DPと授業の到達目標との関係		
			DP 1	DP 2	DP 3
			コミュニケーションと文化を切り口に学生主体で課題解決を考える本学科では、「国際性」「現代性」「学際性」をキーワードに、以下の能力を身につけます。 (1)国際性=世界の異なる価値観を理解し、共生と協働ができる。 (2)現代性=歴史を踏まえた現代の文化・社会を理解し、問題の発見と解決ができる。 (3)学際性=人文科学・社会科学の基礎知識と手法を身につけたうえで、こうした従来の学問の枠組みにとらわれない自由な発想と分野が開拓できる。	(1)コミュニケーション能力=異文化および価値観の異なる他者とのコミュニケーションにおいて、他者を受け容れ、知識や情報を正しく読み解いた上で、自分の考えを構築し、口頭や文章などでの的確に伝えられる。 (2)論理構成能力=自ら設定あるいは与えられた課題について、筋道立てて考え、課題の問題点と論点を発見し、表現できる。	(1)課題解決力=主体的に考えた上で、課題解決のために自ら行動できる。 (2)社会貢献力=大学での主体的な学びを社会で実践し、他者を尊重しつつ、その発展に貢献することができる。
コミュニケーション文化概論A	2	1	◎	◎	○
コミュニケーション文化概論B	2	1	◎	◎	○
日本語口頭表現法	2	1	○	◎	◎
エンパワメントゼミⅠ	2	1前	◎	◎	◎
エンパワメントゼミⅡ	2	1後	◎	◎	◎
エンパワメントゼミⅢ	2	2前	◎	◎	◎
エンパワメントゼミⅣ	2	2後	◎	◎	◎
卒業研究ゼミⅠ	2	3前	◎	◎	◎
卒業研究ゼミⅡ	2	3後	◎	◎	◎
卒業研究ゼミⅢ	2	4前	◎	◎	◎
卒業研究ゼミⅣ	2	4後	◎	◎	◎
卒業論文	6	4	◎	◎	◎
言語・異文化コミュニケーションⅠA	2	2前	◎	◎	◎
言語・異文化コミュニケーションⅠB	2	2前	◎	◎	◎
言語・異文化コミュニケーションⅠC	2	2前	◎	◎	◎
言語・異文化コミュニケーションⅠD	2	2前	◎	◎	◎
言語・異文化コミュニケーションⅡA	2	2後	◎	◎	◎
言語・異文化コミュニケーションⅡB	2	2後	◎	◎	◎
言語・異文化コミュニケーションⅡC	2	2後	◎	◎	◎
言語・異文化コミュニケーションⅡD	2	2後	◎	◎	◎
表象・メディアコミュニケーションⅠA	2	2前	◎	◎	◎
表象・メディアコミュニケーションⅠB	2	2前	◎	◎	◎
表象・メディアコミュニケーションⅠC	2	2前	◎	◎	◎
表象・メディアコミュニケーションⅠD	2	2前	◎	◎	◎
表象・メディアコミュニケーションⅠE	2	2前	◎	◎	◎
表象・メディアコミュニケーションⅡA	2	2後	◎	◎	◎
表象・メディアコミュニケーションⅡB	2	2後	◎	◎	◎
表象・メディアコミュニケーションⅡC	2	2後	◎	◎	◎
表象・メディアコミュニケーションⅡD	2	2後	◎	◎	◎
表象・メディアコミュニケーションⅡE	2	2後	◎	◎	◎
社会・政策コミュニケーションⅠA	2	2前	◎	◎	◎
社会・政策コミュニケーションⅠB	2	2前	◎	◎	◎
社会・政策コミュニケーションⅠC	2	2前	◎	◎	◎
社会・政策コミュニケーションⅠD	2	2前	◎	◎	◎
社会・政策コミュニケーションⅡA	2	2後	◎	◎	◎
社会・政策コミュニケーションⅡB	2	2後	◎	◎	◎
社会・政策コミュニケーションⅡC	2	2後	◎	◎	◎
社会・政策コミュニケーションⅡD	2	2後	◎	◎	◎
言語・異文化コミュニケーション演習ⅠA	2	23	◎	◎	◎
言語・異文化コミュニケーション演習ⅠB	2	23	◎	◎	◎
言語・異文化コミュニケーション演習ⅠC	2	23	◎	◎	◎

カリキュラムマップ (カリキュラムとディプロマ・ポリシーとの対応関係一覧表)

大妻女子大学
令和8年度用

<学部・学科・専攻名>

学部名	文学部
学科名	コミュニケーション文化学科
専攻名	-

各DPと授業の到達目標との関係

◎：特に関係する ○：関係する

科目名	単位	配当年次	各DPと授業の到達目標との関係		
			DP 1	DP 2	DP 3
			コミュニケーションと文化を切り口に学生主体で課題解決を考える本学科では、「国際性」「現代性」「学際性」をキーワードに、以下の能力を身につけます。 (1)国際性=世界の異なる価値観を理解し、共生と協働ができる。 (2)現代性=歴史を踏まえた現代の文化・社会を理解し、問題の発見と解決ができる。 (3)学際性=人文科学・社会科学の基礎知識と手法を身につけたうえで、こうした従来の学問の枠組みにとらわれない自由な発想と分野が開拓できる。	(1)コミュニケーション能力=異文化および価値観の異なる他者とのコミュニケーションにおいて、他者を受け容れ、知識や情報を正しく読み解いた上で、自分の考えを構築し、口頭や文章などで的確に伝えられる。 (2)論理構成能力=自ら設定あるいは与えられた課題について、筋道立てて考え、課題の問題点と論点を発見し、表現できる。	(1)課題解決力=主体的に考えた上で、課題解決のために自ら行動できる。 (2)社会貢献力=大学での主体的な学びを社会で実践し、他者を尊重しつつ、その発展に貢献することができる。
言語・異文化コミュニケーション演習 I D	2	23	◎	◎	◎
言語・異文化コミュニケーション演習 II A	2	23	◎	◎	◎
言語・異文化コミュニケーション演習 II B	2	23	◎	◎	◎
言語・異文化コミュニケーション演習 II C	2	23	◎	◎	◎
言語・異文化コミュニケーション演習 II D	2	23	◎	◎	◎
表象・メディアコミュニケーション演習 I A	2	23	◎	◎	◎
表象・メディアコミュニケーション演習 I B	2	23	◎	◎	◎
表象・メディアコミュニケーション演習 I C	2	23	◎	◎	◎
表象・メディアコミュニケーション演習 I D	2	23	◎	◎	◎
表象・メディアコミュニケーション演習 I E	2	23	◎	◎	◎
表象・メディアコミュニケーション演習 II A	2	23	◎	◎	◎
表象・メディアコミュニケーション演習 II B	2	23	◎	◎	◎
表象・メディアコミュニケーション演習 II C	2	23	◎	◎	◎
表象・メディアコミュニケーション演習 II D	2	23	◎	◎	◎
表象・メディアコミュニケーション演習 II E	2	23	◎	◎	◎
社会・政策コミュニケーション演習 I A	2	23	◎	◎	◎
社会・政策コミュニケーション演習 I B	2	23	◎	◎	◎
社会・政策コミュニケーション演習 I C	2	23	◎	◎	◎
社会・政策コミュニケーション演習 I D	2	23	◎	◎	◎
社会・政策コミュニケーション演習 II A	2	23	◎	◎	◎
社会・政策コミュニケーション演習 II B	2	23	◎	◎	◎
社会・政策コミュニケーション演習 II C	2	23	◎	◎	◎
社会・政策コミュニケーション演習 II D	2	23	◎	◎	◎
英語口頭表現法	2	12	◎	◎	○
フランス語口頭表現法	2	12	◎	◎	○
中国語口頭表現法	2	12	◎	◎	○
韓国語口頭表現法	2	12	◎	◎	○
ベトナム語口頭表現法	2	12	◎	◎	○
社会調査演習	2	23	○	◎	◎
コンピュータ・リテラシー	2	23	○		◎
テクニカル・ライティング	2	23	○		○
コミュニケーション文化特殊研究	2	3後	◎	◎	◎
リサーチ&プレゼンテーション	2	234	◎	◎	◎
映像制作	2	234	◎	◎	◎
スクリーン・イングリッシュ	2	234	◎	◎	◎
インターンシップ・アレンジメント	2	234	◎	◎	◎
フィールドワーク	2	234	◎	◎	◎
社会言語学	2	34	◎	◎	◎
語用論	2	34	◎	◎	◎
国際関係論	2	34	◎	◎	◎
比較国際教育論	2	34	◎	◎	◎

<学部・学科・専攻名>

学部名	文学部
学科名	コミュニケーション文化学科
専攻名	-

各DPと授業の到達目標との関係

◎：特に関係する ○：関係する

科目名	単位	配当年次	各DPと授業の到達目標との関係		
			DP 1	DP 2	DP 3
			コミュニケーションと文化を切り口に学生主体で課題解決を考える本学科では、「国際性」「現代性」「学際性」をキーワードに、以下の能力を身につけます。 (1)国際性=世界の異なる価値観を理解し、共生と協働ができる。 (2)現代性=歴史を踏まえた現代の文化・社会を理解し、問題の発見と解決ができる。 (3)学際性=人文科学・社会科学の基礎知識と手法を身につけたうえで、こうした従来の学問の枠組みにとらわれない自由な発想と分野が開拓できる。	(1)コミュニケーション能力=異文化および価値観の異なる他者とのコミュニケーションにおいて、他者を受け容れ、知識や情報を正しく読み解いた上で、自分の考えを構築し、口頭や文章などでの確に伝えられる。 (2)論理構成能力=自ら設定あるいは与えられた課題について、筋道立てて考え、課題の問題点と論点を発見し、表現できる。	(1)課題解決力=主体的に考えた上で、課題解決のために自ら行動できる。 (2)社会貢献力=大学での主体的な学びを社会で実践し、他者を尊重しつつ、その発展に貢献することができる。
東南アジア地域研究	2	34	◎	◎	◎
言語文化論	2	34	◎	◎	◎
グローバル・ヒストリー論	2	34	◎	◎	◎
メディア社会学	2	34	◎	◎	◎
メディア文化論	2	34	◎	◎	◎
映像表現論	2	34	◎	◎	◎
欧米文化論	2	34	◎	◎	◎
現代ジェンダー論	2	34	◎	◎	◎
社会心理学	2	34	◎	◎	○
アメリカ社会論	2	34	◎	◎	◎
サーバントリーダーシップ論	2	34	◎	◎	◎
公共政策論	2	34	◎	◎	◎
現代正義論	2	34	◎	◎	○
多元的社会的サステナビリティ論	2	34	◎	◎	◎